

夏

形のない希望が暑さの中を
次第にゆっくりとなるオルゴールに
消えてしまう

水は流れず
人は眠りの中に悶え
中断か、それとも終わりなのか

僕は干からびた抒情に向かい
あまりに急激な消失に戸惑い
眼前に広がる砂漠に膝を折る

満腹と幸福を取り違え
欲望と希望を取り違え
全てまたやり直しなのか

向かう風もなく
不安の入り込む余地もなく
汚い淀みが鈍色に光る夏

(1985.7.19)